

# うるわし通信



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL : <http://lets.some.jp>  
E-mail : [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

令和3年8月

## 総会と講演会 開催のご案内

コロナ感染が拡大し緊急事態宣言下でのオリンピック開催という異例の事態が進んでいますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先行き不透明な状況ではありますが、高齢者へのワクチン接種も桜井市では進捗率が高く、これからは、状況をにらみつつ、いわゆるニューノーマルな

社会活動が始まって行くと思われます。

当会では昨年は書面総会を余儀なくされましたが、今年是对面で久しぶりにお互い顔を合わせて総会と公開講演会を開催する準備を進めています。

講演は感染症に関する有意義な話題の講師をお願いしておりますので、皆様お誘いあわせの上、御出席下さいますようお願い申し上げます。

(なお、マスク、手指消毒、距離確保、換気など十分な対策を取りますが、桜井でも緊急事態が生じた時は、急遽書面総会に切り替える場合もあり得ることをご了承ください)

場所： 桜井市まほろばセンター多目的室 桜井市桜井1259-1エルト桜井2F

日時： 8月21日(土) 14時00分から総会(会員の方、御出席)

15時00分より講演会(一般の方もご参加歓迎)

ピアノ演奏： 大西浩子氏

講演： 1) 桜井市文化財保護審議会副会長 福井正浩 氏

「高瀬道常『大日記』に見る感染症のコレラについて」

2) 済生会中和病院副院長 徳山猛 氏

「コロナがもたらしたもの そしてこれから ～臨床現場からの報告～」

\*コロナ対策や緊急事態発生などの場合は計画を変更させていただく場合もあることを、あらかじめご了承ください。



## 来訪者へ美しい心地よいトイレづくりを！

「本会はこれまでも市の景観条例の制定や、各種の街並みを整える取り組みに参画してきました。何よりもまず乱立するけばけばしい看板や見苦しい街の風景を心地よいものに変える必要があります。汚く取り乱した家に客は来ないのと同じで、美しく心地よい街こそが、移住者・来訪者が訪れる街となります。」（2021年1月号 堀井良殷会長 年頭挨拶文より）

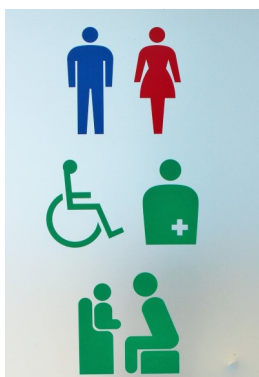
前号の『通信』で、新しく市の顔となる市役所新庁舎の建設とまちづくり活動について紹介しました。前述のように、来訪者を心温かく迎えるために街の景観や玄関口と共に、個人宅の場合でも便所（トイレ）は大切と考えることから、公設の公衆トイレの現状や課題について、考えてみたい。

寺社仏閣や山の辺の道をはじめとした市内各所に公衆トイレ（観光用・公園併設・社寺境内など）が設置されています。設置や管理の主体は多様ですが、奈良県（さわやかトイレ整備事業）設置や、桜井市が管理運営している施設など30余カ所の公衆トイレがあり、その他に社寺が独自に設置されているもあります。

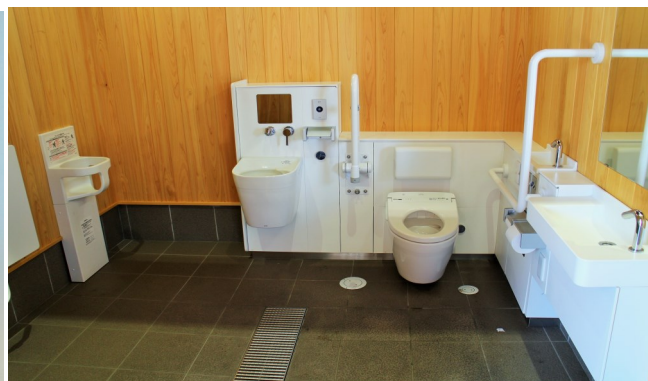
ところでこれらの公衆トイレは、施設の老朽化（設置以降30年前後が経過）や、水洗化・洋式化、そして多機能トイレ仕様（車椅子利用者対応可など）への対応が不十分であったため、各方面から様々な指摘や改善要望がなされて来ました。

### ◎新築や改修が進められている環境整備

ご存知でしょうか。桜井市内での公衆トイレが徐々にではありますが、新築されだしています。木材の街＝桜井に相応しく、木材を積極的に活用した明るくて気持ちの良い公衆トイレが整備されてきています。



多目的トイレ



JR三輪駅前公衆トイレ



多武峰公衆トイレ

## ◎公衆トイレ整備に向けた年次計画の作成と優先的対応が必要！

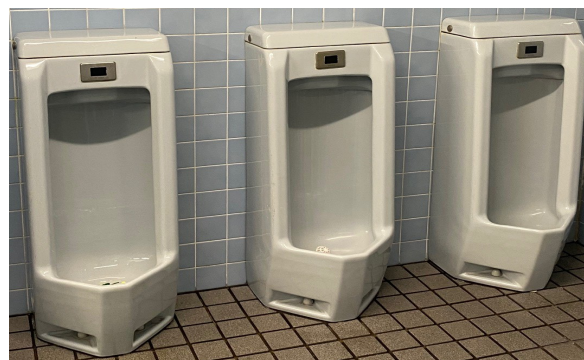
この様に整備は進められていますが、従来のスピードでの環境整備では、周辺自治体の状況や時代の流れから取り残されてしまいます。その為にも整備の年次計画と優先的対応が求められます。とりわけ、桜井駅北口の公衆トイレなどは早期の抜本的改修が必要と思われます。

鳥取県の倉吉市は「トイレからのまちづくり」で全国的に有名です。「トイレづくりは、いい環境づくりの実践です。いい環境とは、自然環境・生活環境・人と人のふれあい、つながりなどあらゆることを含んでいます。環境を見直していくひとつのきっかけとして、トイレ整備を手掛けています。トイレに示された心づかいとやさしさが、まちづくりや行政に広がっていくと、本物の躍動のまちづくりが生まれてくると信じています。」と訴えています。

参考にすべき多くの示唆のある取組みだと言えます。（うるわしの桜井をつくる会事務局）



参拝者向けに新しくなった大神神社公衆トイレ



早期改築が求められる桜井駅北口公衆トイレ

## 市民活動交流拠点登録団体の皆さまへ

いつもお世話になります。このたび、一身上の都合により、3月31日付で退職いたしました。昨年4月に着任し、早いもので1年が経ちました。4・5月は、コロナ感染拡大に伴い緊急事態宣言が出され、登録団体の皆さまとは、お会いする機会がほとんどなく、また、交流拠点では一人の勤務ということもあり、不安な毎日でした。緊急事態宣言解除後は、徐々にお会いする機会も増え、あたたかいお声がけをしていただいたり、また、色々なことを教えていただいたり、何かとお世話になり、ありがとうございました。

皆さまからパワーをいただき、有意義な1年を過ごすことができました。本当に感謝しております。まだまだ、コロナ感染状況のおさまる気配がなく、不安に感じておられる方もおられると思いますが、無理をなさらないようにご活躍ください。なお、4月1日より後任の森田和子様が着任されていますので、今後とも市民活動交流拠点をよろしくお願い致します。池田 加世



## 地域歴史学習会の取り組み

うるわしの桜井をつくる会は「桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会」に参加し、平成27年度から令和2年度まで、6年間にわたり、桜井市立小学校（11校）6年生を対象に、学校の周りに残る多くの遺跡や万葉歌碑等、重要な文化遺産を自分たちの目で確認することで、地域に誇りを持てる子供たちに育てていただくことを目的として、地域歴史学習会に取り組んできました。

実施に当たっては教育委員会、校長先生や担任の先生、地元の区長、桜井市観光ボランティアガイドの会と協力して、校外学習会や記紀万葉歌碑パネルを校内に展示してきました。令和元年度から中学校にもパネル展示を展開しています。

「桜井 記紀万葉プロジェクト推進協議会」は令和2年度で解散することになり、本事業は「桜井市市民協働推進補助金事業」に提案し、令和3年6月3日に採択されました。

子供たちによる全国への情報発信を期待しています。



【校内での歌碑パネル展示】

### 【編集後記】

「通信」86号の発行が遅れましたことをお詫びします。

編集部では、アイヌ民族の歴史や文化、そして先住権等々についての展示や、講演学習会等を行われている「先住民族アイヌは、いま」展実行委員会委員長の浅川肇氏（本会会員）に、寄稿をお願いしました。

この記事は、『あさかわ通信』として先に発行されることとなりましたが、桜井市でのアイヌ展は、5月29～30日両日で250名ほどの参加で成功裏に終了しました。

今後も県内数か所で開催されますので、是非この機会に足を運んでみてください。

巡回展のHPはこちら。<https://ainu.amebaownd.com/> <編集子 K>



桜井会場の展示風景



講演会の様子

うるわし通信発行人  
高瀬 安男  
TEL:090-1678-9157